

一般社団法人 全日本建設技術協会

会長 大石久和

印省略

第628回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）の 開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万1千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図るとともに、建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進と良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とする一般社団法人です。

現在、わが国においては、東日本大震災や平成28年熊本地震等自然災害が頻発しており、防災・減災等における国民の安全・安心の確保はもとより、社会資本の老朽化対策、ストック効果の最大化を図る効率的・効果的な社会資本整備の推進、i-Construction（建設現場の生産性革命）など、時代の要請にこたえた施策の展開を図っていくことが重要となっています。国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、現場に強い建設技術者は、技術力や企画・立案、説明力、交渉力、現場力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供、現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第628回建設技術講習会は上水道行政では、最新の上水道行政施策（水道事業の基盤強化に向けた取り組み）、水道施設のアセットマネジメント、水道施設の耐震化、安全な水道水の供給など、下水道行政では、最新の下水道行政施策、下水道施設のアセットマネジメント、下水道資源の有効活用、浸水被害軽減の取り組み、下水道のストック効果などについて最新の情報を得ることを目的としています。本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久 和
印省略

第628回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成28年11月9日(水)～11日(金)、長崎市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、上水道行政では、最新の上水道行政施策（水道事業の基盤強化に向けた取り組み）、水道施設のアセットマネジメント、水道施設の耐震化、安全な水道水の供給など、下水道行政では、最新の下水道行政施策、下水道施設のアセットマネジメント、下水道資源の有効活用、浸水被害軽減の取り組み、下水道のストック効果などについて学ぶことを目的としています。

なお、本講習会は長崎県・長崎市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

一般（非会員）		会員	
一般（非会員）（下記以外の者）	18,400円	—	—
長崎県内の国・県に勤務	13,400円	正会員、特別会員、賛助会員	13,400円
長崎県内の市町村に勤務	2,000円	30歳未満〔全国の正会員・特別会員〕	2,000円
		地元〔長崎県内の国・県に勤務、特別会員〕	
地元学生	0円	長崎県内の市町村に勤務	0円

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません

※30歳未満〔全国〕及び地元〔長崎県内の国・県に勤務、特別会員〕は
割引価格のため、取り消しはできません

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：6,500円〔昼食代を含みません〕※昼食は各自で取っていただきます。

※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。

※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F

TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「628」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成28年10月21日(金)必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成28年10月28日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成28年11月4日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は、本会実施の「全建CPD(継続教育)制度」の認定講習会として単位が取得できます。

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第628回建設技術講習会(上水道行政の課題・下水道行政の課題)日程

～上水道行政及び下水道行政施策の最新情報と重要施策の具体の取り組み事例などを学ぶ～

(上水道) 最新の上水道行政施策(水道事業の基盤強化に向けた取り組み)、水道施設のアセットマネジメント、水道施設の耐震化、安全な水道水の供給 など
(下水道) 最新の下水道行政施策、下水道施設のアセットマネジメント、下水道資源の有効活用、浸水被害軽減の取り組み、下水道のストック効果 など

会場 …… 【合同/2日】下水道】長崎ブリックホール(3階国際会議場)
【2日】上水道】 ” (3階会議室)
〒852-8104 長崎市茂里町2-38 ☎095-842-2002(代)



(1日目) 開場11:40		平成28年11月9日(水)	【合同】国際会議場	(敬称略)
12:40	あいさつ	長崎県知事	中村法道	
13:00		長崎市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	田上富久 秋山幸男	
13:00	【全建創立70周年記念 基調講演】	日本大学危機管理学部危機管理学科		
14:00	今後の建設行政と公務員技術者の役割	教授	木下誠也	
14:10	水環境改善に向けた取り組みについて	(国研)土木研究所水環境研究グループ		
15:10		上席研究員	南山瑞彦	
15:20	熊本地震における貯水槽の被害状況について ～地震の周期が大きく被害に関係～	中央大学総合政策学部 教授		
16:20			平野廣和	
16:30	【地方自治体の取り組み紹介①】	長崎市上下水道局事業部 次長		
16:50	長崎の近代水道の歩み		吉岡悦朗	
16:50	【地方自治体の取り組み紹介②】	大村市上下水道局下水道施設課 課長		
17:10	民営方式による消化ガス発電事業の取り組みについて		丸田和博	
17:10	【地域事業の紹介】	NPO法人 長崎の風 理事長		
17:30	ながさき女神大橋の体験型観光について [H27年度全建賞受賞事業]		黒田雄彦	
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:30～20:00(予定))		ホテルニュー長崎 3階「丹頂の間」 ☎095-826-8000		
(2日目) 開場 9:00		11月10日(木)	【下水道部門】国際会議場	(敬称略)
9:40	下水道行政の最近の取り組みについて	国土交通省水管理・国土保全局下水道部	山縣弘樹	
10:40		下水道企画課 課長補佐		
10:50	下水道による浸水対策の動向について	国土交通省水管理・国土保全局下水道部	金城弘典	
11:50		流域管理官付 水害対策係長		
13:00	下水道施設のアセットマネジメントについて	国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課	山田弘明	
14:00		事業マネジメント推進室 資産管理係長		
14:10	熊本地震における下水道施設の被害と対応について ～全国の下水道技術者による支援～	熊本県土木部道路都市局水環境課 審議員	森 裕	
15:10				
15:20	下水道における最新の技術開発動向について ～国による技術開発への取組みとJ Sの最新技術開発成果～	日本下水道事業団技術戦略部	橋本敏一	
16:20		上席調査役兼技術開発企画課長		
16:20	閉会のあいさつ	長崎県建設技術協会 会長 (長崎県土木部建設企画課 課長)	佐々典明	
(2日目) 開場 9:00		11月10日(木)	【上水道部門】会議室	(敬称略)
9:40	水道行政の現状と課題について	厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部	山田拓也	
10:40		水道課 課長補佐		
10:50	水道施設の環境・省エネルギー技術の取り組みについて	厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部	堀田卓	
11:50		水道課 復興第二係長		
13:00	水道水質管理の最近の動向について	厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部	田中美奈子	
14:00		水道課 係長		
14:10	香川県における水道広域化について	香川県政策部 次長	亀井孝行	
15:10				
15:20	水道施設の整備及び維持管理について ～送・排水施設(管路及び付属施設)の適正管理～	(公社)日本水道協会 工務部技術課 技術専門監	田口恒夫	
16:20				
16:20	閉会のあいさつ	長崎市建設技術協会 会長 (長崎県土木部長)	本田潔	
(3日目) 集合 8:00～		11月11日(金)	【現場研修】	(敬称略)

大村競艇行バス発着所(8:30)出発

- 本河内高部ダム [H26年度全建賞] (下車説明) → 長崎市東部下処理場 (下車説明)
- 中島河川改修事業(眼鏡橋) (下車説明) → 昼食(長崎市内) → 出島表門橋プロジェクト (下車説明)
- 女神大橋(体験型観光スポット) [H27年度全建賞] (下車説明) → 三菱造船所(世界遺産)(車窓見学)
- JR長崎駅(15:10)着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。

※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第628回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 本河内高部ダム [H26年度全建賞]

昭和57年7月の長崎大水害において長崎市内は甚大な被害を受けました。その災害を受け採択された「長崎水害緊急ダム事業」の一環として、長崎市中心部を流れる二級河川中島川に設置されていた水道専用ダムの利水容量の一部を治水目的に変更し、本河内高部ダム・低部ダムの再開発事業を実施しました。必要な洪水調節容量、利水容量等を確保するため、2ダムで容量の再編を行い、不足する約6万 m^3 は貯水池掘削で対応する計画としました。高部ダムは再開発後の貯水容量確保のため、ダム高を4.7m嵩上げする必要があり、既設堤体を保全し、ダム規模を抑えるため、既設ダムの約50m上流に重力式コンクリートダムを新設しました。低部ダムは、再開発に伴い洪水調節機能を付加するために新設の洪水吐きが必要となり、既設堤体の改造が不要で経済的に最も優れた「竪坑型トンネル式洪水吐」を日本で初めて採用しました。本河内高部ダム・低部ダムは、平成2年に旧建設省から「歴史的ダムの保全事業」に指定され、長崎市を代表する近代土木遺産となっています。

なお、日本初である竪坑型トンネル式洪水吐の増設や歴史的景観保全のために、上流腹付による堤体増強技術、石張り堤体の保全など、数々の新たな試みである技術を駆使しての事業完成が評価され、平成26年度全建賞を受賞しました。

(視察キーワード：ダムの再開発、歴史的土木遺産)

..... 長崎市本河内



2. 長崎市東部下水処理場

下水道における新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、コスト縮減や再生可能なエネルギーの創出等を実現し、併せて国内企業による、水ビジネスの海外展開を支援するため、国土交通省が主体となり、下水道革新的技術実証事業「B-DASHプロジェクト」が行われています。平成24年度の技術テーマ募集に対し、長崎市、大学、地元企業からなる研究共同体により「温室効果ガスを制御した水熱処理と担体式高温消化による固形燃料化技術」で応募したところ、採択を受け、東部下水処理場に実証プラントを建設しており、国からの委託研究が終了した平成25年度以降も安定的にプラントを稼働し実証を続けています。プラント導入前に比べ脱水汚泥を約1/6にまで減量化することができ、減量後の脱水汚泥はそのまま固形燃料として使用できるほか、肥料としての有効活用が見込めます。

(視察キーワード：新技術の活用)

..... 長崎市田中町



3. 中島川河川改修事業（眼鏡橋）

昭和57年7月の長崎大水害は時間雨量187mmを観測し、未曾有の大水害となりました。この時の時間雨量187mmは現在も歴代最高記録となっています。この大水害の際、市内を流れる中島川は氾濫し、長崎市内が壊滅的な被害を受けました。災害復旧の際、「長崎防災都市構想策定委員会」からの答申を受け、昭和57年よりダム建設及び河道拡幅、河床掘削等を実施しています。中島川本川の左右両側にバイパス水路を設け水路には堰を設け、一定以上の水量になるまでは川へ水が流れるように設計されています。また、計画高水流量に対する流下能力を確保するため、河口から東新橋下流付近までの約1.3kmの区間について河道の整備を行い、その際、中島川の歴史的な景観に配慮した護岸を採用するなど、景観や現況の自然環境の保全に配慮した川づくりを行うとともに、動植物の生息・生育環境に配慮しつつ、人が水辺に親しみやすいように必要に応じて階段工や高水敷通路を設置することとしました。

(視察キーワード：災害復旧、治水、自然環境整備)

..... 長崎市魚の町



4. 出島表門橋プロジェクト

…………… 長崎市出島町

出島は鎖国時代、日本で唯一ヨーロッパに開かれた貿易地としてオランダとの貿易を通してさまざまな文物がもたらされ、日本の近代化にも大きく貢献しました。長崎市は昭和26年から出島の復元に着手し、平成8年3月に策定された出島復元整備計画に基づいて、19世紀初頭の出島の復元整備を推進しています。これまでにカピタン部屋など10棟の建造物復元や護岸石垣の顕在化が完成し、平成28年10月には新たに出島中央部6棟の復元建物が完成しました。



この6棟復元に続き、平成29年度に出島表門橋の架橋を目指しています。出島表門橋架橋プロジェクトは、江戸町側から、当時と同じように海を渡って出島に足を踏み入れることができる橋を架橋することで、海に浮かんでいた19世紀初頭の島を実感できるようにするものです。明治期中島川変流工事により、出島は扇形の内側が約18m削り取られ、川幅が当時と異なるため、往事の石橋の復元ではなく出島へのルートを復元するための架橋事業としています。勿論河川の管理、防災面の配慮が必要となり、また出島側は国指定史跡なので、史跡を壊して橋台を設置することができないため特殊な工法を採用しています。なお架橋は、旧出島橋の歴史的考証を行った上であえて、架橋する橋が“復元”と混同されないようなデザインとしています。

今回の出島表門橋架橋プロジェクトは、出島復元整備事業の一環として、出島復元の価値を、長崎のまち全体の中で捉え、出島とその周辺が一体となり、長崎に新たなまちづくりの胎動を生み出すとともに、長崎の文化や誇りを次の世代へつなぎ、世界とつながることをこのプロジェクトの目標としています。

(視察キーワード：歴史的文化財保護、観光促進)

5. ながさき女神大橋「体験型観光」 [H27年度全建賞] …………… 長崎市新戸町宇～長崎市大浜町

長崎の南部と西部を結ぶことにより、地域全体の産業・経済・文化の活性化を図るため、平成3年に着工し平成17年12月11日に開通した、橋長880m、中央径間480mの3径間連続鋼床版箱桁斜張橋です。また、海面から桁下までの高さは65mとなっており、明石海峡大橋等と並んで日本一の橋梁で、長崎のシンボルとして親しまれています。平成27年に開通10周年を迎え、新たな観光振興を推進するため、女神大橋を観光ツアーに定評のある「長崎さるく」と協力して試験的に体験型観光「女神大橋ば登ってみゅーで!!」を実施しました。この取り組みは、



既存の土木構造物を景観のシンボルとしてだけではなく、体験型観光スポットとして活用するもので、普段立ち入ることができない女神大橋の内部に立ち入り、山登り感覚で橋を登り、海上175mの高さから長崎の絶景を見渡したり、橋の内部構造の見学を行いました。平成27年度は毎回定員を超える申し込みがあり、5回実施し約280名の参加を得られました。今年度は、参加費やコース等を変更した試験実施を行い、運営方法や費用対効果など、長崎の観光振興につながるのか検討を進めています。

なお、この事業は、既存インフラを観光資源とすることでインフラの役割についての啓蒙につながる点、参加料を変更した数回の取組みで結果を分析した点、他の体験型観光との組み合わせでさらなる発展が見込まれる点などが評価され、平成27年度全建賞を受賞しました。

(視察キーワード：インフラツーリズム)

第628回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には長崎市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて (キャンセル料発生日が早いため、気を付けて下さい)

宿泊日の当日から起算してさかのぼって		当日(宿泊開始前)及び無連絡不泊
7日前～2日前まで	前日	
宿泊代金の20%	宿泊代金の50%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成28年11月8日(火)、9日(水)、10日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ホテルベルビュー長崎出島 長崎市江戸町1-20 TEL095-826-5030	シングル	30名	7,640円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



2会場となりますので、部門別の欄も必ず記入してください。

平成28年 月 日

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第628回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			部門別		現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		(非会員)	会員	正会員 30歳未満	上水道	下水道			予約日に○を記入して下さい		
										11月 8日	9日	10日
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												

聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。

一般(非会員) 名×18,400円＝ 円

会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円

正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円

※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」

※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)

現場研修料 名×6,500円＝ 円

計 円

↑
現場研修の昼食は各自でお取り下さい。

宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(30歳未満、地元)は割引価格のためキャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修時の昼食は、各自でお取りいただきます。

第628回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の交流と、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成28年11月9日(水) 18:30～20:00(予定)

(第628回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：ホテルニュー長崎 3階「丹頂の間」(予定)

※開催場所が変更になる場合がありますので、当日ご確認ください。

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

※開催時間に変更が生じることもあります。講習会場でご確認下さい。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】 ※講師の都合により変更になる場合があります。

- | | |
|-------------------------------------|----------|
| ・ 日本大学危機管理学部危機管理学科 教授 | 木下 誠也 講師 |
| ・ (国研)土木研究所水環境研究グループ 上席研究員 | 南山 瑞彦 講師 |
| ・ 中央大学総合政策学部 教授 | 平野 廣和 講師 |
| ・ 国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課 課長補佐 | 山縣 弘樹 講師 |
| ・ 国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官付 水害対策係長 | 金城 弘典 講師 |
| ・ 厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課 課長補佐 | 山田 拓也 講師 |
| ・ 厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課 復興第二係長 | 堀田 卓 講師 |



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当

TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com